

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
鍼灸理論 2											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	宮本陽平			実務 経験	有	職種	鍼灸師				
授業概要											
鍼灸施術における治効理論や関連学説について学びます。											
到達目標											
この科目では鍼灸施術の治効機序を理解することをねらいとする。鍼灸刺激がどのような意味をもった刺激であるのかを考え感覚の受容と伝導を理解すること、神経学的反射を理解し鍼灸刺激によって起こりうる生体反応を理解すること、内因性鎮痛機構を理解することが目標である。また、これら学習する内容を、将来的に一般の患者や、他の医療職種の従事者に対して、鍼灸施術の効果・効能を説明できるようになることを目標とする。											
授業方法											
この授業では、講義を通じて鍼灸の治効機序の理解を深めていく。感覚受容器、伝導神経線維、脊髄内伝導路を学び鍼灸刺激が生体にとってどのような意味のある刺激であるのかを考え、起こりうる反射を中心とした生体反応を学んでいく。また、生体内に存在する内因性鎮痛機構を学び、鎮痛効果の機序を理解することを目指す。将来の臨床の場でこれらの機序を念頭に置き、どのような刺激を選択するかの根拠になる理論を学ぶ。											
成績評価方法											
期末試験で100％評価する											
履修上の注意											
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。											
教科書教材											
『はりきゅう理論』											
回数	授業計画										
第1回	感覚の受容と伝導										
第2回	感覚の受容と伝導										
第3回	感覚の受容と伝導										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
鍼灸科	
鍼灸理論 2	
第4回	感覚の受容と伝導
第5回	鍼灸刺激と反射
第6回	鍼灸刺激と反射
第7回	鍼灸刺激と反射
第8回	鍼灸刺激と反射
第9回	鍼灸刺激と反射
第10回	鍼灸刺激と反射
第11回	鍼鎮痛
第12回	鍼鎮痛
第13回	鍼鎮痛
第14回	鍼鎮痛
第15回	総合授業